



2014 **5** May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

緑薫る風が、芝生に横になる二人の間を吹き抜けていく。  
 陽射しはセレッソの花が咲き乱れていた頃より少し強くなり、セルフィアには緑の季節が訪れている。  
 熱る肌から目の光りを避け緑を濃くした芝に共に寝転がっていると、レオンの腕を枕にしていたフレイが名を呼んだ。  
 「さっき、いいもの見つけたんです。」  
 差し出されたフレイの手には、幸運の象徴であるクローバー。  
 「レオンさんに。」  
 「…俺たちは気が合いすぎるな。」  
 苦笑したレオンを不思議そうに見上げるフレイの目の前に、レオンは小さな緑を差し出した。  
 「クローバー…!」  
 「俺もさっき見つけたんだ。アンタにやろうと思ってな。」  
 受け取ったフレイは幸せそうにクローバーを見つめ、笑顔を溢す。  
 「ふふ…っ明日からきっと、幸せ二倍ですね。」  
 腕に流れる新緑の髪を指で遊びながら、レオンは小さく呟いた。  
 「…今も、幸せだと言えなくもないんだがな。」  
 その声は木漏れ日の光に目を細めている間に、葉を踊らせた風が掠っていった。

Illustration : ナカムラ SSS : 夕桜みれい